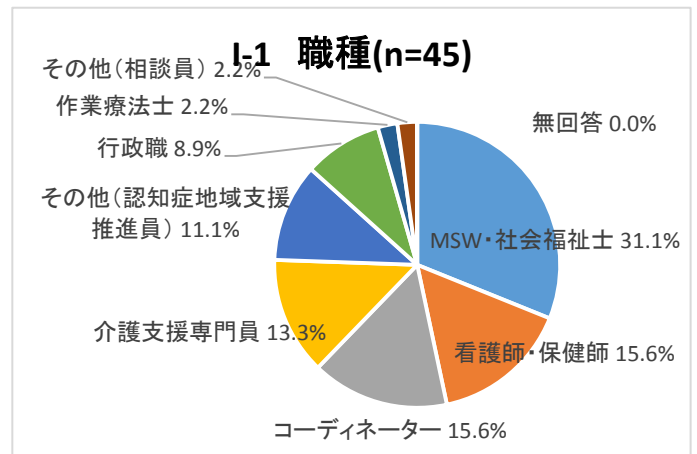


平成30年度沖縄県入退院支援連携デザイン事業
「第2回 多職種研修:地域住民への普及啓発～ACPについて」出席者アンケート

実施主体:沖縄県、一般社団法人沖縄県医療ソーシャルワーカー協会
実施日:2019年03月09日(土)
対象:研修会参加者(50人)
回答者数:45人

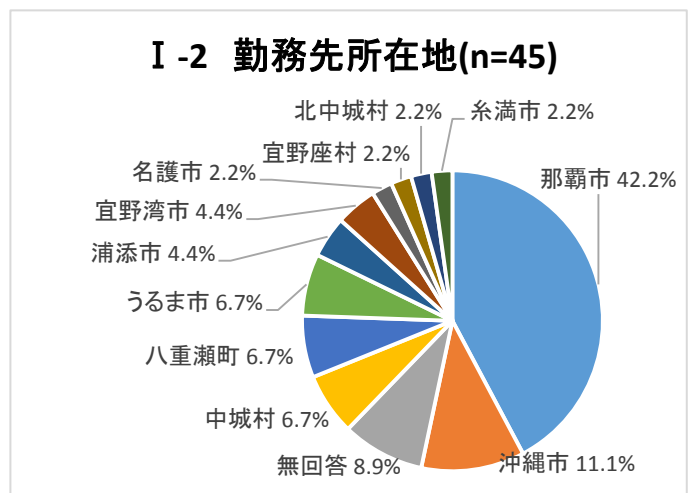
I-1 職種

選択肢	人	%
MSW・社会福祉士	14	31.1%
看護師・保健師	7	15.6%
コーディネーター	7	15.6%
介護支援専門員	6	13.3%
その他(認知症地域支援推進員)	5	11.1%
行政職	4	8.9%
作業療法士	1	2.2%
その他(相談員)	1	2.2%
無回答	0	0.0%
合計	45	100.0%



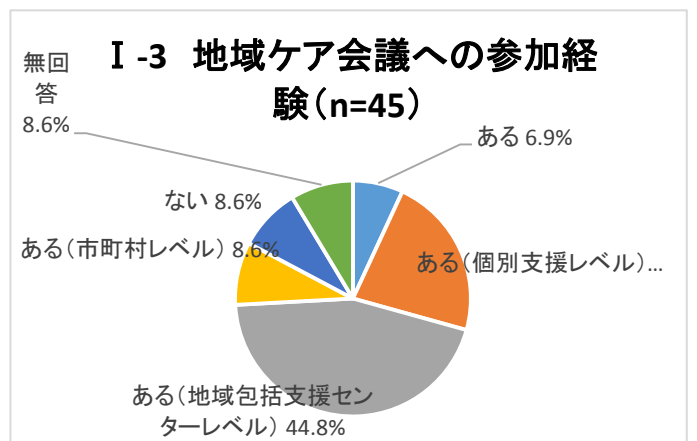
I-2 勤務先所在地

市町村名	人	%
那覇市	19	42.2%
沖縄市	5	11.1%
無回答	4	8.9%
中城村	3	6.7%
八重瀬町	3	6.7%
うるま市	3	6.7%
浦添市	2	4.4%
宜野湾市	2	4.4%
名護市	1	2.2%
宜野座村	1	2.2%
北中城村	1	2.2%
糸満市	1	2.2%
合計	45	100%



I-3 地域ケア会議への参加経験(複数回答)

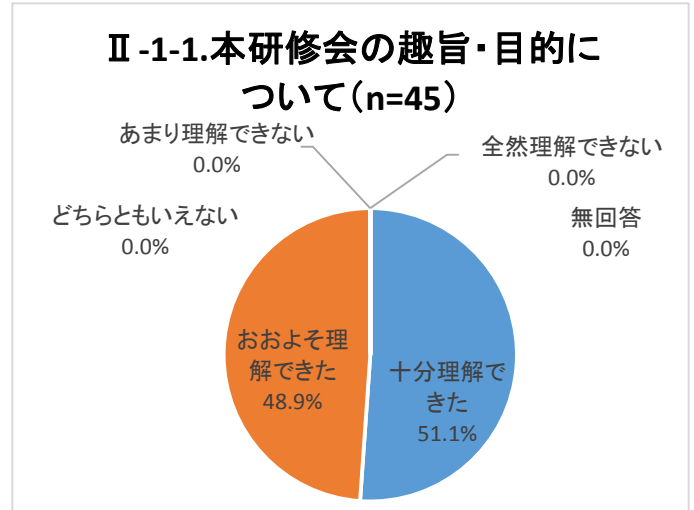
選択肢	人	%
ある	4	7.4%
ある(個別支援レベル)	13	24.1%
ある(地域包括支援センターレベル)	26	48.1%
ある(市町村レベル)	5	9.3%
ない	5	9.3%
無回答	5	9.3%
合計	54	100.0%



II 内容についての理解

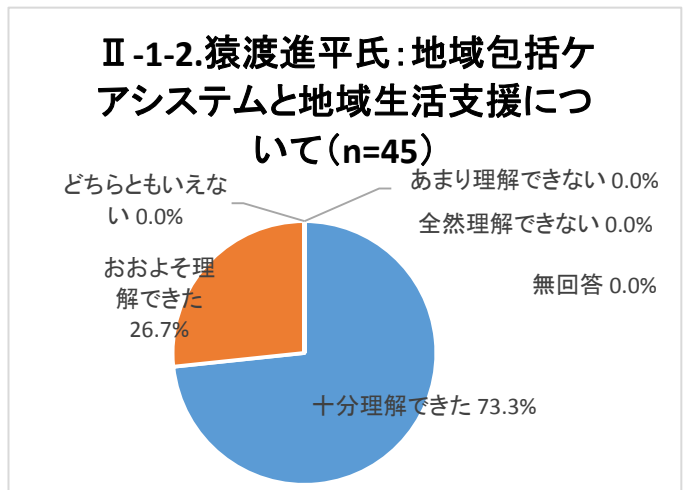
II-1-1.本研修会の趣旨・目的について

選択肢	人	%
十分理解できた	23	51.1%
おおよそ理解できた	22	48.9%
どちらともいえない	0	0.0%
あまり理解できない	0	0.0%
全然理解できない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	45	100.0%



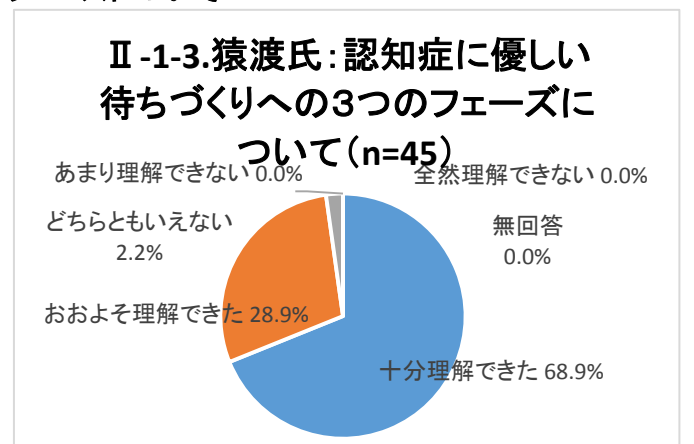
II-1-2.猿渡進平氏:地域包括ケアシステムと地域生活支援について

選択肢	人	%
十分理解できた	33	73.3%
おおよそ理解できた	12	26.7%
どちらともいえない	0	0.0%
あまり理解できない	0	0.0%
全然理解できない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	45	100.0%



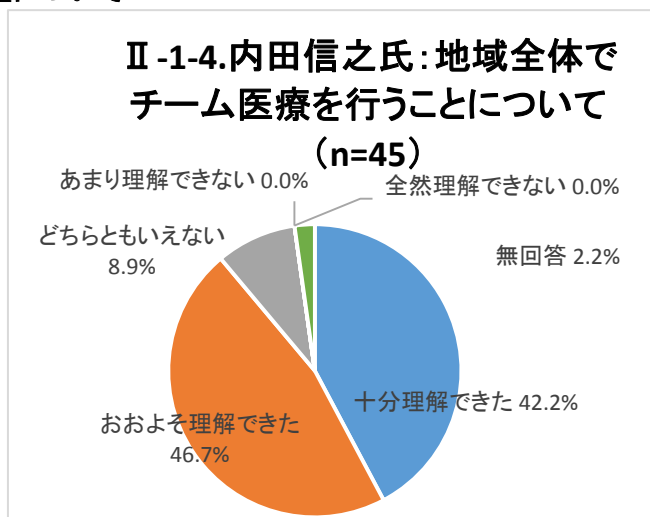
II-1-3.猿渡氏:認知症に優しい待ちづくりへの3つのフェーズについて

選択肢	人	%
十分理解できた	31	68.9%
おおよそ理解できた	13	28.9%
どちらともいえない	1	2.2%
あまり理解できない	0	0.0%
全然理解できない	0	0.0%
無回答	0	0.0%
合計	45	100.0%



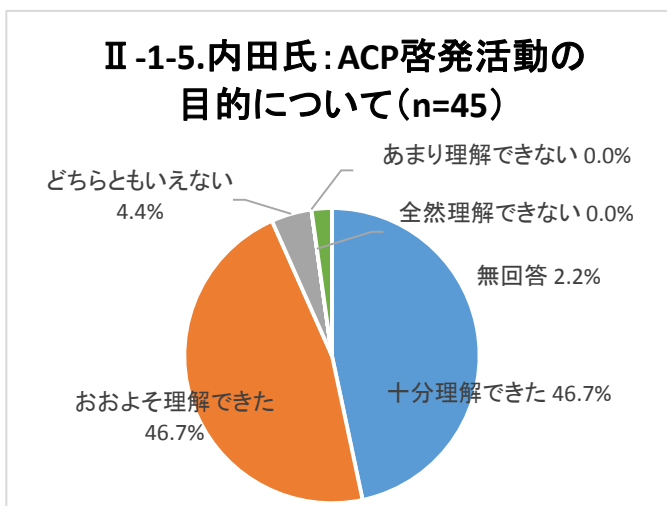
II-1-4.内田信之氏:地域全体でチーム医療を行うことについて

選択肢	人	%
十分理解できた	19	42.2%
おおよそ理解できた	21	46.7%
どちらともいえない	4	8.9%
あまり理解できない	0	0.0%
全然理解できない	0	0.0%
無回答	1	2.2%
合計	45	100.0%



II-1-5.内田氏:ACP啓発活動の目的について

選択肢	人	%
十分理解できた	21	46.7%
おおよそ理解できた	21	46.7%
どちらともいえない	2	4.4%
あまり理解できない	0	0.0%
全然理解できない	0	0.0%
無回答	1	2.2%
合計	45	100.0%



II-2 プログラムの内容で特に参考になったことについて(自由回答:11人)

- ・ACP。日頃から心がけていきたいです。まず自分自身から。
- ・地域づくりの具体的な実践が学べてよかった。参考となった。ACPを普及する側として参考になった。幸せとは、生きるとは死ぬとは・・・抽象的ではあるけれど大切さを実感しました。
- ・地域づくりの大切さを、認知症の問題は、自分事として考える必要がある。
- ・地域の力を引き出すアプローチ方法
- ・委員会の立ち上げて、すすめていく、つくっていくことから始まる
- ・とても良い研修に参加させて頂きありがとうございます。
- ・猿渡氏の地域支援方法と町づくりについて。無理だと決めつけず、まずは試みることが大切だと感じました。
- ・地域のケアシステム作りについて参考になった
- ・地域の関わりが本当に大切だという事を感じました。実行されていることに感動しました。人の生活の中で、病院が身近であるために外につながることに本当に本当に大事だと思います。
- ・リビングウィルを地域で展開することが、入院や施設入所すればよいという考えを変えていくきっかけになるのではないかと思います。そのために専門職である私がACPを学習しなければと思いました。
- ・来年度、包括でどう活動していくかのヒントを頂きました。

II-3 研修日程・時間

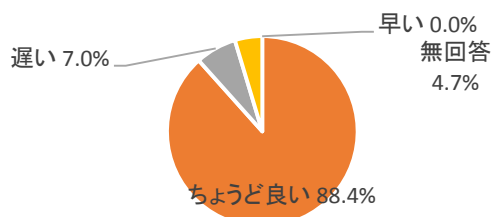
①日程

選択肢	人	%
早い	0	0.0%
ちょうど良い	38	88.4%
遅い	3	7.0%
無回答	2	4.7%
合計	43	100.0%

※自由回答(2名)

- ・できれば平日の開催を希望します。
- ・嘱託職員等は年度契約のため、4～6、9～10月ごろがいいです。

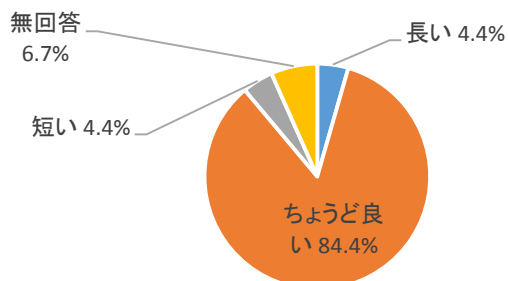
II-3-① 研修日程(n=43)



②時間

選択肢	人	%
長い	2	4.4%
ちょうど良い	38	84.4%
短い	2	4.4%
無回答	3	6.7%
合計	45	100.0%

II-3-② 研修時間(n=45)



II-4 参加の動機

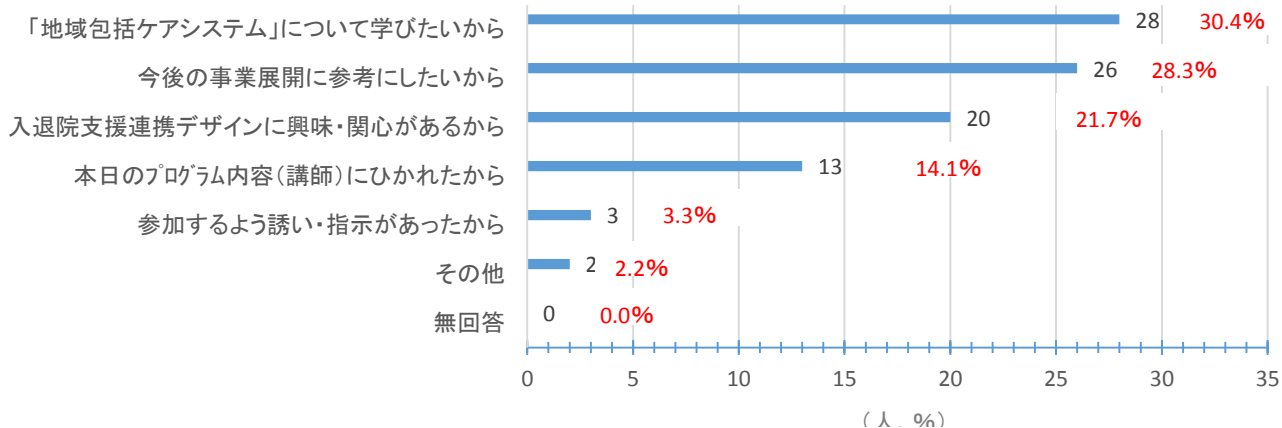
※複数回答

選択肢	人	%
無回答	0	0.0%
その他	2	2.2%
参加するよう誘い・指示があったから	3	3.3%
本日のプログラム内容(講師)にひかれたから	13	14.1%
入退院支援連携デザインに興味・関心があるから	20	21.7%
今後の事業展開に参考にしたいから	26	28.3%
「地域包括ケアシステム」について学びたいから	28	30.4%
合計	92	100.0%

※自由回答(2名)

- ・意思決定支援に興味があった
- ・人生の最期をどう迎えるかという事に関心があったため

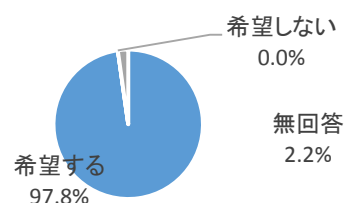
II-4 参加の動機(n=92)



II-5 今後も同様な研修会を希望するか

選択肢	人	%
希望する	44	97.8%
希望しない	0	0.0%
無回答	1	2.2%
合計	45	100.0%

II-5 今後も同様な研修会を希望するか(n=45)



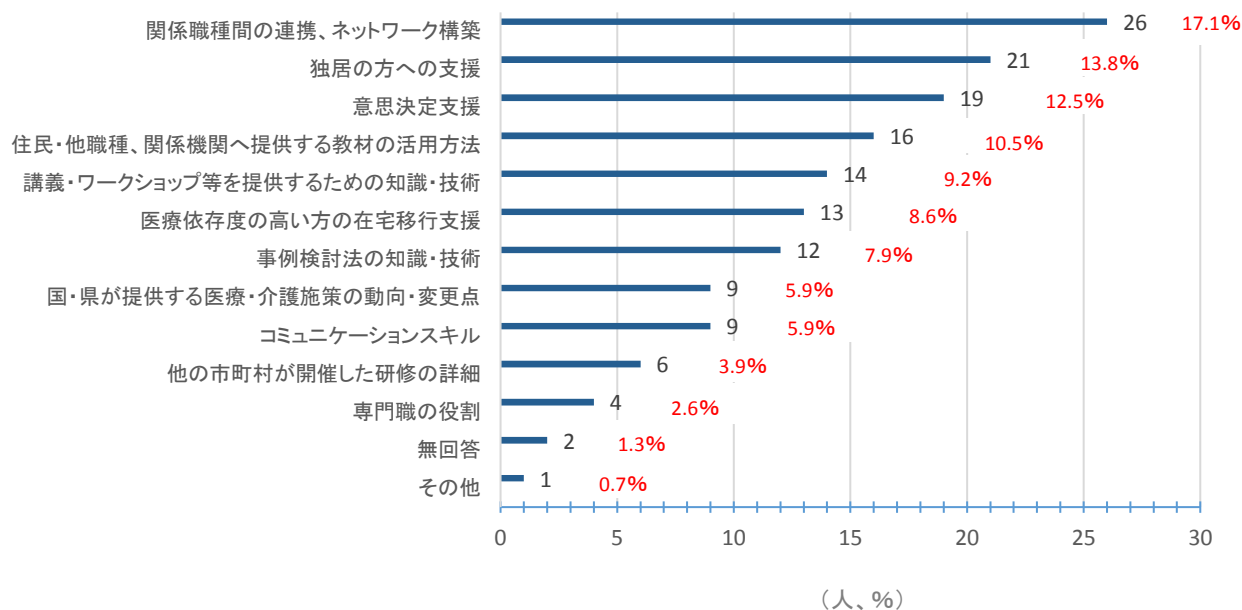
III 今後取り上げてほしいテーマ

※複数回答

選択肢	人	%
その他	1	0.7%
無回答	2	1.3%
専門職の役割	4	2.6%
他の市町村が開催した研修の詳細	6	3.9%
コミュニケーションスキル	9	5.9%
国・県が提供する医療・介護施策の動向・変更点	9	5.9%
事例検討法の知識・技術	12	7.9%
医療依存度の高い方の在宅移行支援	13	8.6%
講義・ワークショップ等を提供するための知識・技術	14	9.2%
住民・他職種、関係機関へ提供する教材の活用方法	16	10.5%
意思決定支援	19	12.5%
独居の方への支援	21	13.8%
関係職種間の連携、ネットワーク構築	26	17.1%
合計	152	100.0%

※自由回答(1名)
・ACPの基礎

III 今後取り上げてほしいテーマ (n=152)



※一番受けたいテーマ

- ・医療依存度の高い方の在宅移行支援(1名)
- ・住民・他職種、関係機関へ提供する教材の活用方法(1名)
- ・意思決定支援(3名)
- ・関係職種間の連携、ネットワーク構築(4名)
- ・事例検討法の知識・技術(1名)
- ・独居の方への支援(2名)
- ・専門職の役割(1名)
- ・コミュニケーションスキル(1名)

IV その他、全体を通しての感想・意見(8名)

- ・講師の先生方のお人柄が分かる、とてもあたたかさや思いが伝わる、感じた講演会でした。ありがとうございました。
- ・とても勉強になりました。ありがとうございました。
- ・勉強になる具体例がたくさん盛り込まれており、大変勉強になりました。あきらめない生活支援をしていきたいと思いました。本日はありがとうございました。
- ・講演①と講演②の時間配分は平等にすればよかったと思いました。
- ・研修名について、研修内容とあっているか疑問に感じました。
- ・ありがとうございます。とてもいい時間でした。
- ・進行は時間通りに進めてほしいです。休憩時間は必要です。質疑応答を多くしたいなら最初からプログラムに組み込んでください。
- ・内地の先進地の声、とても参考になります。しかし沖縄の特徴として“なんぎ”“暑くて外に出ない”等があり、どんなに居場所を作っても出てこない。沖縄県内の成功例の話も聞きたいです。